



浜松市デジタル・スマートシティ 官民連携プラットフォーム 第1回運営委員会



令和5年6月6日



1 開会

2 取組状況・各種動向

3 意見交換

(1) 大学の関わりの強化について

(2) 官民連携でのWell-Being向上に向けて

(3) その他

4 閉会

あいさつ



浜松市長 中野 祐介

1. 会議参加時

- 基本的に「ビデオはON」、「音声はOFF（ミュート）」

2. ご発言時

- オンラインでの参加者
「音声をミュート解除」し、最初にお名前をお伝えいただいたのちにご発言ください。
- 現地参加者
テーブルのマイクにてご発言ください。

2 取組状況・各種動向

(1) “デジタル・スマートシティ浜松” ウェビナーシリーズ

“デジタル・スマートシティ浜松”ウェビナーシリーズ



分野間連携の取組等を紹介する「ウェビナー」を、年4回開催。

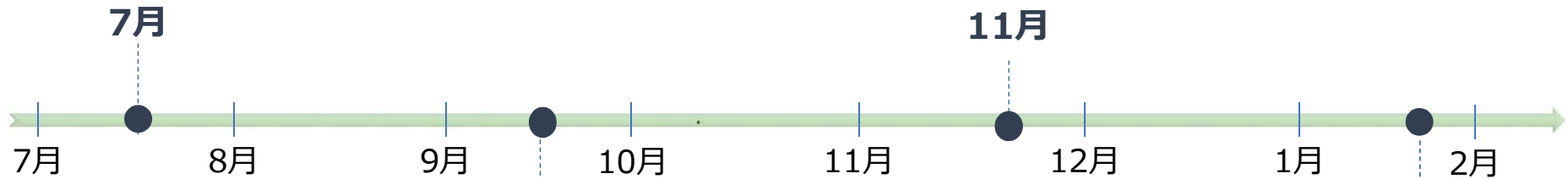
＜スケジュールと紹介分野＞

第1回

データ連携基盤を活用した
地域課題の解決と地域の活性化
～持続可能なエコシステムを目指して～

第3回

※調整中



9月

第2回

※調整中

1月

第4回

※調整中



主催：浜松市、官民連携PF 対象：どなたでも視聴可能（無料）

(2) “デジタル・スマートシティ浜松” ソリューションピッチ

Solution Pitch & Meetup Event

- 官民連携プラットフォーム設立以来初となる完全リアル開催を予定。
- ソリューションをピッチするだけでなく、リアルな交流の場を設けることにより、より一層の会員間の連携を促進する。

開催概要

- **開催時期：8月予定**
 - **開催場所：浜松市地域情報センター3F 第1研修室（予定）**
 - **テーマ：調整中**
 - **今後、会員の皆様に参加募集予定（ピッチの実施、一般参加）**
- ※官民連携プラットフォームパートナー会員や、浜松市所管課、東フェローが参加予定

(3) Hamamatsu ORI-Project

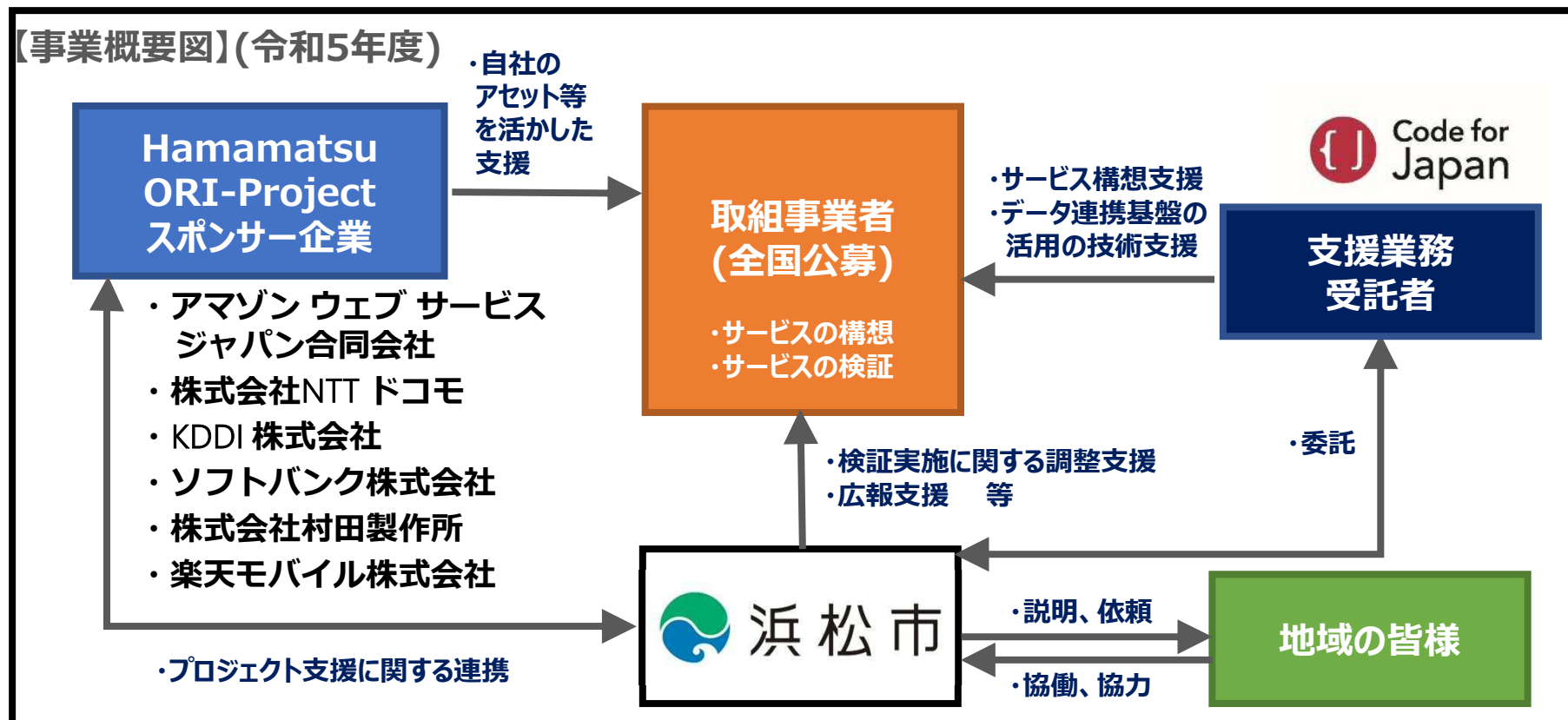
Hamamatsu ORI-Projectとは

- ・ 浜松市データ連携基盤を活用した新たなサービスやアプリケーションの創出を目指す取組（サービスの構想及びその検証）に対し、浜松市や連携支援団体が総合的な支援を行うものです。
- ・ 令和2年度からスタートし、令和4年度までに19件の事業検証（実証実験）の支援を実施しました。

▶ **Hamamatsu ORI-Project** （Hamamatsu **O**pen **R**egional **I**nnovation Project）
 正式名称：浜松市データ連携基盤活用モデル事例創出事業

事業の目的

データ連携基盤を有効活用した新たなサービスやアプリケーションの官民共創



- 今年度は“Hamamatsu ORI-Project X”として次の3つの取組を並行して実施します。

Hamamatsu ORI-Project

1 <地域課題解決型>

浜松市データ連携基盤を活用した地域課題の解決策の検証

浜松市の各部門から提示された課題テーマについて、浜松市データ連携基盤を活用して解決を図るプロジェクトを公募し、有望案件について浜松市内における事業検証の支援を実施。

2 <スポンサー協業型>

浜松市データ連携基盤を活用したスポンサー企業との協業促進

Hamamatsu ORI-Project スポンサー企業の提示する浜松市データ連携基盤を活用する協業テーマについて、対応可能な事業者を公募し、スポンサー企業との連携による事業検証の支援を実施。

3 “浜松市データ連携基盤活用ハッカソン（仮称）”の開催

浜松市データ連携基盤を活用した新たなアプリケーション等を創発するハッカソンを開催し、創発された有望案件について浜松市内における事業検証の支援を実施。

令和5年度 データ連携基盤活用促進のスケジュール

- 雨期の事業検証が必要な地域課題に対応するため、5月中旬をエントリーメットとする1次募集を実施しました。
- ハッカソンに関しては、6月末までに企画の詳細と事前準備を行い、8月～9月にかけて複数日程で開催する予定です。
- 課題解決型・スポンサー協業型の支援対象企業には、ハッカソンへの参加を促していきます。
- 令和6年3月中下旬に合同成果発表会を開催予定です。



解決したい地域課題テーマ

- 7件の地域課題テーマについて募集を行い、4月21日（金）～5月12日（金）の第1次募集で、そのうち4テーマについて実証プロジェクトの採択を行いました。

Hamamatsu ORI-Project

民間企業との連携により解決を図りたい課題③

課題テーマ名：道路通行規制情報のリアルタイム配信

1. 解決したい課題の内容

災害や工事等による道路の通行規制情報については、一部を本市ホームページ等で情報発信しているところだが、速報性に課題があるとともに民間事業者が施工する工事についてはほとんど反映されていないのが実情である。

2. 実現したい目標について

道路管理者、上下水道、電気、通信、ガス事業者などの工事施工者が直接情報を入力することにより、リアルタイムに通行規制情報を発信する。

3. 求める技術について

- ・専門知識のない事業者でも通行規制情報（規制される道路区間、規制の内容、時期、時間帯、規制理由等）を容易に入力・管理できるユーザーインターフェースやフォーム等を提供できる技術
- ・入力された情報に基づき、リアルタイムに地図上で通行規制情報を確認できるアプリケーション（スマートフォンアプリ等を想定）を提供できる技術

4. 活用したいデータについて

工事施工者等の入力による通行規制情報（規制される道路区間、規制の内容、時期、時間帯、規制理由等）

<掲載テーマ>

- ① 次期基本計画の策定に係る効果検証の設計（リサーチデザイン）
- ② 道路上の下水道施設異常等に関する市民参加型情報提供の仕組みづくり
- ③ 道路通行規制情報のリアルタイム配信
- ④ 正確な浸水及び道路冠水状況の把握
- ⑤ 避難所・避難者の状況から支援物資等のシステム管理について
- ⑥ 避難所における物資量の予測
- ⑦ 周辺排水の状況把握と適切な排水機場の稼働判断

※下線で記載している課題テーマは、現在も提案受付中

- 第1次募集において、下記の3つのデータ連携基盤を活用した実証プロジェクトを採択しました。

●地域課題テーマ②

「道路上の下水道施設異常等に関する市民参加型情報提供の仕組みづくり」

→株式会社ミライエ（本社所在地：東京都品川区）

プロジェクト名「路上下水道施設異常通報システム」

●地域課題テーマ④

「正確な浸水及び道路冠水状況の把握」

→下記2社による連携体

- ・株式会社ミライト・ワン（連携体の代表、本社所在地：東京都江東区）
- ・ノバルス株式会社（本社所在地：東京都千代田区）

プロジェクト名「MaBeeML冠水センサシステム」

●地域課題テーマ⑤

「避難所・避難者の状況から支援物資等のシステム管理について」

→プライムバリュー株式会社（本社所在地：宮城県仙台市青葉区）

プロジェクト名「B-orderを活用した備蓄品、避難所管理の防災DX検証プロジェクト」

令和5年度の個別の採択事業①

(株)ミライエ

浜松市 LINE公式アカウント

通報メニュー

市民が撮影、LINE送信

路上下水道異常

※道路保全課様、広聴広報課様と要調整

職員様専用WEBツール

地図一覧 写真一覧 詳細表示 業者連携FAX用PDF

名称	路上下水道施設異常通報システム
概要	浜松市公式LINEアカウントを入り口とし、市内の下水道マンホールの破損や異常について、写真や位置情報を付して通報できるシステムの実証実験を行う。市の担当者は、専用Webシステムにより通報内容について、地図上で、投稿のあった画像等とあわせて確認でき、マンホールの維持管理の効率化の効果が期待できる。通報のあったデータ（位置情報、破損等の内容等）について、データ連携基盤に連携させる。

(株)ミライト・ワン/ノバルス(株)



名称	MaBeeML冠水センサシステム
概要	電源・センサ・LTE-M通信等の無線機能を一体化したコネクテッドバッテリーMaBeeMLを用いた冠水センサ（低コストでメンテナンスがしやすい点に強み）を複数個所に設置し、市内の冠水の発生状況を面的にモニタリングするとともに、計測したデータをデータ連携基盤に連携する。将来的には、冠水センサのデータと、市が所有する河川水位情報等とデータの突合を行い相関性を確認し、冠水エリア予測を目指す。

令和5年度の個別の採択事業②

(株)プライムバリュー



名称	B-orderを活用した備蓄品、避難所管理の防災DX検証プロジェクト
概要	登録した避難所の備蓄品に対し、QRコード付きの帳票を生成でき、QRコードを読み込んで現地で消費登録を行えるようにすることで、備蓄品の消費登録管理をリアルタイムに行うことを可能とするツール「B-order」と、避難所情報とのデータ連携を行うことで、避難所ごとに避難者の状況を備蓄品の状況を組み合わせて一元的に管理できる仕組みを構築し、その効果について検証を行う。

スポンサーからの協業テーマ

- 株式会社村田製作所から下記協業テーマが提示されており、6月30日（金）17時までエントリーを受付中です。

タイトル

フレキシブルなIoT センサプラットフォーム「Pifaa」を活用した Fiware-ready なサービスの共創

概要

- 下記のような特徴をもつセンサ・ゲートウェイ・クラウドで構成される**IoT センサプラットフォーム「Pifaa」**について、**浜松市データ連携基盤との接続を行い、Fiware-readyで、センサプラットフォームとして確立させる。**
 1. センサ/Pifaa xSensor
温度・湿度・気圧・照度・人流など全9種類あり、様々な環境情報が取得可能。
 2. ゲートウェイ/ Pifaa Edge
Pifaa xSensor でセンシングした情報をクラウドにアップロードする中継器。センサの変更・新規追加が簡単にできる特長がある。
 3. クラウド/Pifaa Cloud
Pifaa Edge 及び他社無線センサのデータを蓄積・可視化でき、サードパーティ製へのクラウドAPI 連携も可能。
- 本センサプラットフォームを活用した**Fiware-Ready なサービスアイデアを共につくりあげ、浜松市をフィールドとした検証を経て、拡大させていくパートナーとなる企業**を幅広く募集。

(4) 浜松市データ連携基盤活用サービス 実装支援補助金

浜松市データ連携基盤活用サービス実装支援補助金について

- 過年度のHamamatsu ORI-Projectの支援案件など、データ連携基盤を活用したサービスの地域実装に向けた取組に対する補助制度です。
- 令和4年度に創設された補助制度です。

1 目 的

本市においてデータ連携基盤を活用したサービスの実装（調査や実証実験にとどまらず、継続的なサービス提供を開始すること）に向けて取り組む民間企業を支援し、データ連携基盤を有効活用した先端サービスの実装により本市の課題解決や市民QoL（生活の質）の向上を図るとともに、本市発の新たなイノベーションの創出を目指す。

2 事業概要

- ◎ データ連携基盤を活用したサービスを本市において早期に実装することを目指して取組を行う事業者に対し、その取組に必要な資機材のリース費用、取組の協力者への謝金、国内の交通費等を補助する「浜松市データ連携基盤活用サービス実装支援補助金」を創設し、運用する。
- ◎ 補助金額は、補助上限額200万円/件、補助率2/3以内。

令和5年度の採択事業

- 下記の3者に対し、補助金の交付決定を行い、サービスの今年度内の地域実装に向けた取組を支援していきます。
- 採択先は、いずれも令和4年度のHamamatsu ORI-Projectの支援先企業です。

■ 株式会社JX通信社（本社所在地：東京都千代田区）

<補助事業名>

浜松市データ連携基盤を活用した浜松市内における交通事故・浸水冠水被害の可視化事業

■ 株式会社GreatValue（本社所在地：東京都港区）

<補助事業名>

住民同士の助け合い「浜松ヒーローズ」

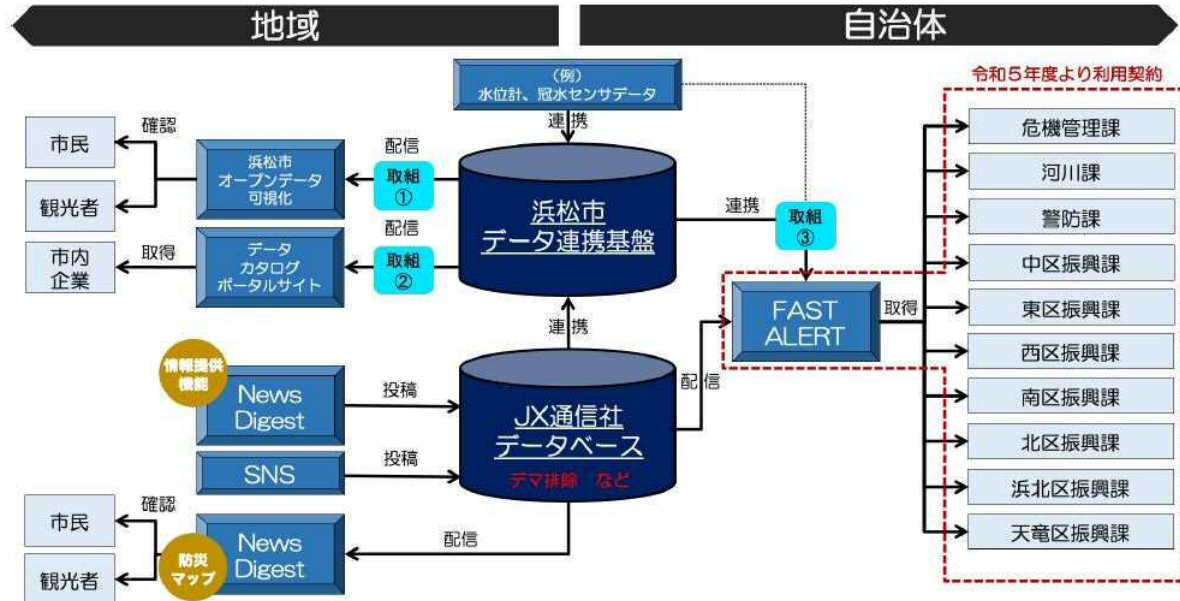
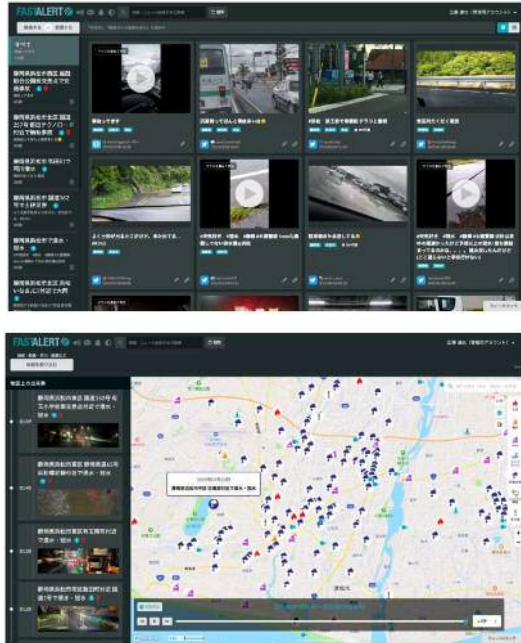
■ ユニソック合同会社（本社所在地：静岡県駿東郡長泉町）

<補助事業名>

AVS (Active Volunteer System)

令和5年度の個別の採択事業①

(株)JX通信社



<p>事業名称</p>	<p>浜松市データ連携基盤を活用した浜松市内における交通事故・浸水冠水被害の可視化事業</p>
<p>事業概要</p>	<p>SNS（Twitter、Instagram等）や無料ニュースアプリ「NewsDigest」から投稿された災害・事件・事故に関連する情報に関し、AIを活用してデマ排除・位置特定・情報種別の分類などを自動で処理し、リアルタイムで配信できるサービス「FASTALERT」について、浜松市データ連携基盤との連携による利便性向上を図る。 具体的には、データ連携基盤にFASTALERTで取得した交通事故・浸水冠水被害のデータを提供することに加え、データ連携基盤に既に連携されている(株)オサシ・テクノスが提供する「冠水エリア予測サービス」等のデータを取得し、FASTALERTにデータ連携させ、可視化することを試みる。</p>

令和5年度の個別の採択事業②

(株)GreatValue



事業名称	住民同士の助け合い「浜松ヒーローズ」
事業概要	地域での助け合いに対し、地域の協力店舗で使用できるポイントを付与できるアプリ「ヒーローズ」について、市内全域を対象にサービスを開始する。助け合いポイントに加え、オープンデータを活用した地域情報発信や困りごと掲示板など、複数の機能を提供し、地域の活性化につなげる。サービスを通じて収集した、助け合いポイントの利用先や助け合いニーズの情報についてデータ連携基盤への連携を図る。

ユニソック合同会社



事業名称	AVS
事業概要	ボランティアに参加したい人と、ボランティアを募集する団体のマッチングサービス。ユーザーは、希望するボランティア情報について地域とジャンルを指定してLINEで受信したり、地図上からボランティア募集情報を探したりすることで、LINEから参加申込ができる。データ連携基盤を活用し、ボランティア実績からエリア別の「SDG s スコア」の分析・可視化を図る。

(5) 令和5年度デジタル・スマートシティ MONTH

MONTH事業の目的

- デジタル・スマートシティの理念や趣旨の普及・浸透を図る。
- 先進技術を活用したサービス等に、市民の方が触れる機会を設けることにより、「デジタル・スマートシティ浜松」推進の機運を醸成する。

開催期間

令和5年10月

※〈国〉デジタルの日 令和5年は10月1日、2日

開催内容

- 冠事業の実施
- 官民連携プラットフォームが開催する**主催事業としてのオンラインフォーラム**
- 令和5年度創設「**はままつWell-Beingアワード**」結果発表及び受賞式



今年度も、企業や各種団体が実施するイベントやセミナーを募集。期間内の様々な時期で開催。

目的

市民の皆様に“デジタル・スマートシティ浜松”を身近に感じていただき、一緒に浜松の未来を考えていく機会とする。

募集事業

以下のすべてに該当する事業

- ・ デジタル・スマートシティに関連したイベントやセミナー
- ・ 広く一般の参加を募る（または参加できる）事業
- ・ 令和5年10月に行われる事業
- ・ 浜松市内で行われる事業
- ・ 企業・団体（団体としての規約を有するもの）が行う事業

募集 スケジュール (予定)

募集開始：6月

応募締切：7月末

事業選定：8月

事業周知：9月～

はままつWell-Beingアワード

浜松市の地域幸福度（Well-Being）向上に資する企業・団体のサービスや取組を表彰

目 的

市民の幸福感向上に資する企業や団体の取組を顕彰することで、活動を促進するとともに、浜松市における啓発や気運の醸成を図る。

募集対象

浜松市の地域幸福度（Well-Being）向上に資する企業・団体のサービスや取組

募 集 スケジュール (予 定)

募集開始：6月末

応募締切：8月上旬

選 考：8～9月

結果発表：10月

表彰式：10月

(6) 講師派遣制度

講師派遣制度

概要

官民連携プラットフォーム会員が講師となり、市内学校の授業等で講座を開催する

講師

官民連携プラットフォーム会員 ※講師：13団体（14講座）6/5時点

派遣先の対象

市内の小学4～6年生、中学生、高校生

講義内容

- デジタル・スマートシティ浜松について
- 各分野（各団体）の取組紹介



スケジュール

2023年度											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
講師募集											
	派遣先募集										
		開催									



No.	講座名	講師団体
1	子どもの交通安全意識を高める「もしかも授業」	イーデザイン損害保険株式会社
2	デジタル技術の変革による生活の変化を知ろう (Society4.0から5.0へ)	遠鉄システムサービス株式会社
3	スマート林業の現状と今後の展望	静岡県農林技術研究所森林・林業研究センター
4	ミライの社会を覗いてみよう！	ソフトバンク株式会社
5	モバイル通信と防災のお話し	株式会社ドコモソリューションズ 静岡支店
6	ドローンの未来について	株式会社トラジェクトリー
7	食農分野での取り組みと静岡のワサビ産業への 取組（データ活用）のご紹介	西日本電信電話株式会社（NTT 西日本）
8	e-Sportsをトリガーとしたコミュニケーション促進	西日本電信電話株式会社（NTT西日本）
9	未来の街のオンライン見学	日本電気株式会社
10	身近な課題をデジタルで解決する	認定NPO 法人 はままつ子育てネットワークぴっぴ
11	浜松市のスマート農業	浜松スマート農業推進協議会
12	地理情報（GIS）	株式会社フジヤマ
13	産業分野におけるイノベーション創出とDX	リンクウィズ 株式会社
14	ICT を考える	特定非営利活動法人 六星・ウィズ

令和4年度実績

令和4年5月から各学校へ募集を開始。4校より応募をいただいた。

開催時期	テーマ (講師)	学校	学年 クラス	人数
7/8	ミライの社会を覗いてみよう！ (ソフトバンク株)	浜松市立 篠原小学校	6年生 4クラス	120
9/22	デジタルデータの活用による 静岡県の持続的なわさび産業振興 (西日本電信電話株)	静岡県立 浜松湖北高等学校	3年生 1クラス	20
9/29	ICTを考える ((特非) 六星・ウイズ)	浜松市立 富塚小学校	4年生 3クラス	79
10/18	ドローンの未来について (株)トラジェクトリー)	浜松市立 平山小学校	6年生 1クラス	10

令和4年度 講演中の様子



令和5年度申込状況

令和5年度は4月から募集を開始。

※令和6年2月29日まで募集中

開催時期	テーマ (講師)	学校	学年 クラス	人数
6/5	スマート林業の現状と今後の展望 (静岡県農林技術研究所 森林・林業研究センター)	浜松市立 可美小学校	5年生 4クラス	130
7/4	ミライの社会を覗いてみよう！ (ソフトバンク(株))	浜松市立 篠原小学校	6年生 4クラス	121
9/5	モバイル通信と防災のお話し (株)ドコモソリューションズ静岡支店	浜松市立 北浜小学校	6年生 3クラス	94
9/5	デジタル技術の変革による 生活の変化を知ろう (Society4.0から5.0へ) 遠鉄システムサービス(株)	浜松市立 瑞穂小学校	6年生 4クラス	130
9/11	ミライの社会を覗いてみよう！ (ソフトバンク(株))	浜松市立 葵が丘小学校	6年生 2クラス	70
1/15	ミライの社会を覗いてみよう！ (ソフトバンク(株))	浜松市立 竜禅寺小学校	6年生 2クラス	53

(7) デジタル技術活用支援事業

デジタル技術相談人材の育成 取組概要

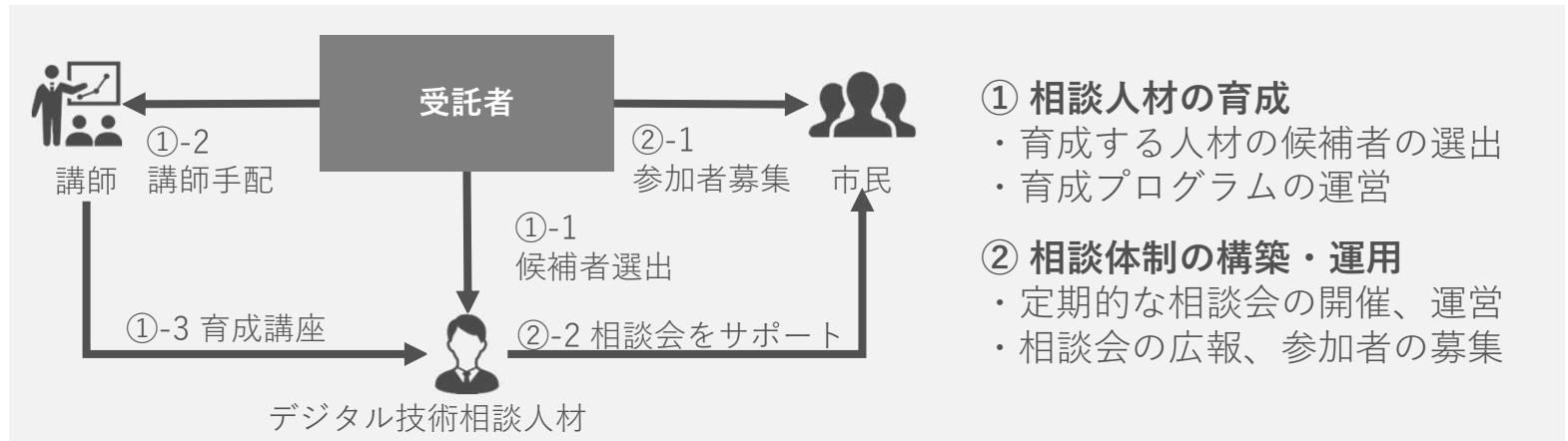
Digital Smart City HAMAMATSU

地域住民をデジタル技術相談人材として育成し地域での相談会に参加

実施内容

- **地域のなかで**デジタル技術相談人材の候補者を選出し育成研修を実施
- 地域で定期的な**スマホ相談会を開催**
- 育成したデジタル技術相談人材が**相談会にサポーターとして参加**

事業スキーム



① 相談人材の育成

- ・ 育成する人材の候補者の選出
- ・ 育成プログラムの運営

② 相談体制の構築・運用

- ・ 定期的な相談会の開催、運営
- ・ 相談会の広報、参加者の募集



令和4年度の実施内容と令和5年度の実施内容

令和4年度の実施内容

- 水窪地域にて**集落ごとに1~2名、計12名**をデジタル技術相談人材として育成
- 相談人材の属性は、**11名が女性、60~80代**
- 地域で開催する相談会に参加し、**講師のサポーター**として参加者からの相談へ個別に対応
- 「**スマホの画面がつかない**」「**LINEのアイコンが消えてしまった**」といった相談に対応できた



令和5年度の実施内容

- 令和5年度は、**水窪以外の地域で20名（10名×2地域）**のデジタル技術相談人材を育成
- 水窪地域では、**令和4年度に育成したデジタル技術相談人材を活用した相談会**を引き続き開催するとともに、多様な担い手による相談体制を構築するため、**事業所等での相談モデル構築**に取り組む

事業所等での相談モデル構築

事業所等でスマホの疑問を相談できる、共助型の相談体制を構築する

事業目的

デジタルに不慣れな方がスマホ等を**日常で使用するなかで生じた疑問**を身近な事業所等で**気軽に相談できる場**をつくることでデジタルの恩恵を誰もが受けられる社会を実現する

結果イメージ

- ① デジタルに不慣れな方が、デジタル活用による**生活の質の向上を実感**できる
- ② 事業所にとっても意義のある取組にすることで、**地域で自走する**相談体制を構築
- ③ 気軽に相談できる場があることで、「**スマホを自分で使ってみよう**」と思う

実施内容（案）

- 「**スマホの基本機能**」や「**よく使われるアプリの活用方法**」に関する相談を受ける
- 相談料は**無料**。相談の時間帯は、施設の営業時間に準ずるものとし、時間は**1回30分程度**を上限とする
- あくまで地域共助型であり、事業者で対応できない相談については、相談者が別途キャリアショップのスマホ教室に参加する等して自ら解決することを促す
- 以下の範囲において、**自社サービスの利用や会員登録を案内が可能**とする
 - ✓ 自社サービスの利用や会員登録を、**相談の募集や受付の条件としない**こと
 - ✓ **事業の趣旨と関係のあるもの**であること（LINEの友達登録・自社アプリのインストール等）

(8) 令和5年度の主な事業予定

令和5年度の取組予定

項目	2023年度												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
I デジタル・スマートシティ	官民連携PF運営委員会会員との連携			●第1回運営委員会		●第2回運営委員会		●第3回運営委員会		●第4回運営委員会			
	官民連携PFピッチ・ウェビナー					●ソリューションピッチ							
	データ連携基盤運用機能追加	浜松市データ連携基盤の運用・機能追加											
	データ連携基盤の活用促進			参加募集	市内課題等に対するデータ連携基盤を活用したソリューションの募集・審査・採択案件の検証支援								▲成果発表会
	MONTH事業			事業公募	審査	補助事業の実施期間							
	地域共助型デジタル技術活用支援事業			Well-Beingアワード	冠事業募集	選定	周知	マンス	●オンラインフォーラム				
	庁内連携			★第1回本部会議			★第2回本部会議				★第3回本部会議		
	OASIS (Well-Beingに基づく政策デザイン研修)			★第1回講義	★第2回講義	★第3回講義	★第4回WS	★第5回WS	★第6回WS・発表				
II MaaS	モビリティサービス推進コンソーシアム			●第1回会議		●第2回会議		●セミナー		●第3回会議		●第4回会議	
	共助型地域交通等推進モデル事業	モデル地区：庄内地区 事業主体への支援（住民説明会、ドライバー募集等）											

令和5年度の取組予定

項目		2023年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
Ⅲ デジタル・ガバメント	行政手続オンライン化、キャッシュレス決済推進	オンライン化の推進、オンライン利用率向上											
		キャッシュレス決済の運用											
	DX人材育成	DX研修											
	デジタルを活用した業務改革	重点取組業務の選定・改革											
		各所属における業務改革（重点取組業務以外の業務）											
	書かない窓口	届出業務システム準備		★届出業務スタート 届出業務運用									
AI等先進技術活用	RPAの活用												
	LTEモデルChromebookを活用したテレワークの実証実験												
Ⅳ デジタル・マーケティング	相談支援	デジタル・マーケティング相談支援 ★次年度予算要求に向けた相談会											
	人材育成	★ワークショップ				★ワークショップ				★セミナー			

条例・各種計画

- ・浜松市デジタルを活用したまちづくり推進条例
- ・浜松市デジタル・スマートシティ構想
- ・浜松市版MaaS構想
- ・浜松市デジタル・マーケティング戦略
- ・浜松市DX推進計画

3 意見交換

静岡大学の取り組み状況

川田善正
静岡大学

2023年度アイデアソン・データソンについて

Hack the student life with open data!

オープンデータを使って創造的な学生生活を送ろう！

開催日：アイデアソン 5月20日（土）

データソン 6月3日（土）

※台風の影響で延期

参加者：静岡大学情報学部生23名、
静岡文化芸術大学生2名
浜松聖星高校生13名 合計38名

主催：静岡大学情報学部

協力：静岡県データ活用推進課
浜松市広聴広報課、
浜松市デジタル・
スマートシティ推進課

概要：大学生や高校生が身近な生活課題に注目し、オープンデータを活用して課題の分析と解決策の考案を行う。

静岡県・浜松市のオープンデータと浜松市データ連携基盤の活用を重点課題とする。



はままつ IT キッズプロジェクト

Optical Science Lab.

2023年度 ITロボットこうぎ第1回の様子

2023年4月23日 #9期生

2023年度 9期生 ITロボットこうぎの第1回目でした。



第1回目は比例制御（ひれいせいぎょ）を行いました。
以前の講座でライントレースするときON/OFF制御（せいぎょ）を学びましたが、今回はカラーセンサの反射光の値によって旋回（せんかい）する角度を変更（へんこう）するプログラミングになります。
こちらは計算式が多いのでブロックの役割を理解していないと調整が難しいです。



ON/OFF制御（せいぎょ）と比例制御（ひれいせいぎょ）のどちらも動作させて違（ちが）いを理解してもらいました。
それぞれの良い点と悪い点があったと思います。
ラインの形状により制御（せいぎょ）方法を変えて使用してくださいね。

2023年度 ITロボットこうぎ第2回の様子

NEW 2023年5月28日 #9期生

2023年度 9期生 ITロボットこうぎの第2回目でした。



2回目は並列処理（へいれつじり）を行いました。
何種類かを同時に動作させたいときに便利です。
1つ1つ終わってから次の処理に入る方が分かりやすいと思いますが、時間がないときに並列処理をすることで時間短縮（じかんたんしゆく）になります。



演習では開始と同時に動作させた処理と開始から少したってから動作させた処理のプログラムを作成しました。
それぞれの特徴（とくちょう）がわかったと思います。
物を乗せているときに早く動かすとどうなるのか、遠心力が加わって制御（せいぎょ）の仕方によっては物が飛んでしまいましたね。
何も運んでいないときと物を運んでいるときの速度を変えることも必要なことです。

第1回 (4/23)

比例制御について学習

カラーセンサの反射光の値によって旋回（せんかい）する角度を変更

第2回 (5/28)

並列処理を学習

何種類かを同時に動作させる
ときに使用

静岡大学・浜松医科大学

「医・工・情報連携ワークショップ」 (案)

1. 開催趣旨

医学科・看護学科・工学部・情報学部の学生間交流を図り、医・工・情報連携の新たな可能性を切り拓くことを目的として実施

2. 開催概要（案）

日時: 2023年8月21日（月）10:30-17:00

テーマ案: 「高齢者がいきいきと暮らせる健康長寿のまちづくり」

- ・ 講演者による情報提供
- ・ 学生の議論によるワークショップ
- ・ 学生交流会

3. 参加者

学生24名（静岡大学12名 + 浜松医科大学12名）

4. 講師

各大学から情報提供 + 浜松市からの取り組み状況説明

瀧本陽一 様（浜松市デジタル・スマートシティ推進課 課長）

- ・ 浜松市でデジタルを活用したまちづくりを推進



東京海上日動

To Be a Good Company

Well-Being指標の活用に関する ワークショップ^o

東京海上日動火災保険株式会社
デジタルイノベーション部

Tokio Marine & Nichido Fire Insurance Co., Ltd.

東京海上日動とスマートシティインスティテュートとの取り組み

- スマートシティの拡大と高度化を推進するためのナレッジ&産官学民連携プラットフォームとして2019年に設立した一般社団法人スマートシティインスティテュートと「Liveable Well-Being City指標」における「自然災害・防災INDEX」の開発と活用促進で協業しました。



Smart City
Institute Japan



東京海上日動

2022年4月6日

一般社団法人スマートシティ・インスティテュート
東京海上日動火災保険株式会社

スマートシティ・インスティテュートと東京海上日動が協業を開始

～Liveable Well-Being City 指標を用いた自治体向け都市分析モデルの活用を促進～

一般社団法人スマートシティ・インスティテュート(代表理事 柳川範之、以下「SCI-Japan」と東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長 広瀬伸一、以下「東京海上日動」)は、スマートシティの推進ツールである Liveable Well-Being City 指標(以下「LWC 指標」)を用いた、自治体向け都市分析モデルの活用促進において協業を開始します。

1. 協業の背景

LWC 指標は、オーストラリア・メルボルンの都市政策に用いられている「リバビリティ・インディケータ」の日本版として、SCI-Japan がロイヤルメルボルン工科大学と連携し開発をスタートしたものです。「暮らしやすい街(Liveable)」「幸福をもたらしてくれる街(Well-Being)」として必要な要素がどれだけ備わっているかを客観・主観両方のデータで把握し、市民の幸福度を様々な角度から測定する日本初の総合指標パッケージです。

SCI-Japan は、スマートシティの拡大と高度化を推進するためのナレッジ・産官学民連携プラットフォームとして2019年10月に設立された非営利型一般社団法人です。スマートシティ推進のゴールである「市民のWell-Being実現」に向けた各地域における暮らしやすさ(Liveability)や幸福感(Well-Being)を数値化・可視化するための全国共通指標として、LWC 指標の開発に取り組んでいます。



南雲 岳彦氏

三菱UFJフィナンシャル・グループ執行役員
三菱UFJリサーチ&コンサルティング専務執行役員
内閣府規制改革推進会議委員
一般社団法人スマートシティ・インスティテュート理事
世界経済フォーラム第四次産業革命日本センター・フェロー

正会員A (52)



準会員 (183)



正会員B (20)



Well-Being指標の活用に関するワークショップ全体像

浜松市デジタルスマートシティ推進課の皆様と連携し、「浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム」会員事業者様向けにワークショップを開催。Well-Being起点のサービス企画・開発を実践することを目的としています。

1 市民のWell-Beingを検討

浜松市が作成したシナリオを参考に市民のWell-Beingを検討

対象者：モビリティサービス
推進コンソーシアム会員
日時：2023年4月25日（火）
9:30-12:30
会場：浜松市地域情報センター

Agenda

1. 開会宣言
2. LWCIインプット（南雲様）
3. シナリオ説明（瀧本氏）
4. ワークショップ①
休憩
5. ワークショップ②
6. グループ発表
7. 閉会宣言

2 プロジェクト・サービス検討

浜松市民のWell-Being向上に資するサービス内容を検討

（現時点での予定）

対象者：モビリティサービス
推進コンソーシアム会員
日時：2023年7月3日（月）
9:30-12:30
会場：浜松市地域情報センター

Agenda

1. 1回目の振り返り
2. ワークショップ①
休憩
3. ワークショップ②
4. グループ発表
5. 今後について

Well-Being指標の活用に関するワークショップ参加者

	事業者名	所属部署	参加者		事業者名	所属部署	参加者
グループA 子育て世代（全般）	株式会社フジEAPセンター	代表取締役	坂部 善久	グループD 通勤者	株式会社サラーコーポレーション	浜松共創推進室長	井上 徹
	MONET Technologies 株式会社	MaaS推進部 東日本事業推進課 課長代理	樫尾 英明		株式会社l'mbesideyou	CRO(Chief Revenue Officer)	杉本 浩一
	ヤマト運輸株式会社 浜松主管支店	浜松法人営業支店 フィールドエグゼクティブ	小林 直樹		遠州鉄道株式会社	生命保険営業課 主任	横川 真也
	遠州鉄道株式会社	経営企画課 主任	渡邊 竜太		スズキ株式会社	次世代モビリティサービス本部 係長	五十嵐 薫
	浜松市	デジタル・スマートシティ推進課 主任	鈴木 悠馬		浜松市	デジタル・スマートシティ推進課 課長補佐	新村 仁
	浜松市	企画課 課長補佐	加藤 健太郎		浜松市	デジタル・スマートシティ推進課 主任	伊藤 達也
	東京海上日動火災保険株式会社	デジタルイノベーション部アライアンス推進室 担当課長	石川 沙莉		東京海上日動火災保険株式会社	浜松支店浜松支社 支社長代理	小山 沙紀
グループB （未就学児を持つ親）	株式会社 杏林堂薬局	健康医療ネットワーク推進部 地域医療連携推進室 シニアマネー	河合 幸久	グループE 免許返納者	株式会社 杏林堂薬局	健康医療ネットワーク推進部 地域医療連携推進室 室長	内山 貴雄
	株式会社l'mbesideyou	CCSO (Chief Customer Success Officer)	南郷 ゆな		株式会社サラーコーポレーション	イノベーション推進部 新規事業開発グループ	山本 正彦
	ヤマハ発動機株式会社	クリエイティブ本部フロンティアデザイン部	住友 剛		株式会社ハマキョウレックス	HMK Nexus 株式会社 代表取締役社長	内田 貴啓
	認証NPO法人はままつ子育てネットワークぴっぴ		藤田 麻希子		ヤマハ発動機株式会社	新事業推進部 企画グループ 主務	増井 惇也
	スズキ株式会社	次世代モビリティサービス本部 一般	神谷 直輝		浜松市	デジタル・スマートシティ推進課 グループ長	三輪 光司
	浜松市	デジタル・スマートシティ推進課 主任	山本 晃央		浜松市	ウエルネス推進事業本部 主任	水野 勝久
	東京海上日動火災保険株式会社	名古屋営業第二部営業第三課 課長	川越 維一郎		東京海上日動火災保険株式会社	浜松支店浜松支社 次長	田附 森夫
グループC 子育て世代（就学児を持つ親）	株式会社サラーコーポレーション	浜松共創推進室	野中 大介	東京海上日動火災保険株式会社	浜松支店浜松支社 副主任	加藤 菜々子	
	遠州鉄道株式会社	生命保険営業課 主任	曾我 遼佑				
	認証NPO法人はままつ子育てネットワークぴっぴ	理事長	原田 博子				
	スズキ株式会社		山崎 薫				
	浜松市	デジタル・スマートシティ推進課 グループ長	森 真也				
	浜松市	カーボンニュートラル推進事業本部 グループ長	内崎 哲				
	東京海上日動火災保険株式会社	デジタルイノベーション部 部長	平山 寧				

Well-Being指標の活用に関する ワークショップ内容

テーマ1 【発散】

Well-Beingに繋がる要素を考える

市民像（ペルソナ） にとってのWell-Beingとはなんですか？

体験（行動）環境・人間関係など思いつく限り書き出してみてください。

〈議論のポイント〉

選択したペルソナが「通勤者」であれば、「通勤者」の中でもどのような人物像、家族像、周辺環境にあるのかなど市民像をより具体的に深掘して議論してみてください！



テーマ2 【収束】

因子を整理し、主テーマを決める

1. 因子の整理をする

市民像（ペルソナ）にとってのWell-Beingがそれぞれ「心の因子」「行動の因子」「環境の因子」の中でどれに関連するのか整理してください。

2. 主テーマを決定する

市民像（ペルソナ）のWell-Beingに直結するテーマを1つ決定してください。



Well-Being指標の活用に関するワークショップ当日の様子



Well-Being指標の活用に関する ワークショップDay2ご案内

日時：2023年7月3日9:30～12:30

会場：浜松市地域情報センター

Day2からのご参加也大歓迎です！
皆様のご参加をお待ちしております。